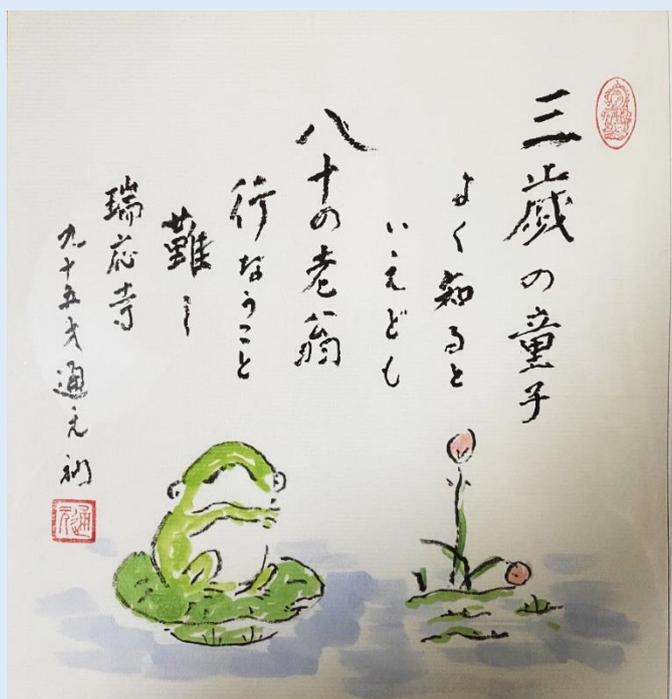


長光寺だより

諸悪莫作 衆善奉行

悪いことをせず、善いことをすることが仏教の真髓だと教えた僧に対し、「そんなことは三歳の子どもでも知っている」と笑って返したが、「三歳の童子でもこれを知るが、八十の老翁でも行うのは難し」と諫めた有名な故事



長光寺所蔵墨蹟

「不思議」「不思議」

本年はロシア・ウクライナ戦争で始まり、年末にはイスラエル・パレスチナの紛争で暮れます。戦争は一筋縄ではいかないものです。交戦国の双方にさまざまな要因が絡み合っています。ニュースを見ると戦争がいつ終わるのか心配になります。

仏典にローヒニー川の戦争というものがありません。ヒマラヤの麓にはローヒニー川が流れています。西側がお釈迦様の故郷シャカ国、東側にはお釈迦様のお母さんの故郷コーリヤ国があります。共に農作業をするときには、ローヒニー川から水を引いています。しかし干ばつの際には、両国により水争いが度々起こりそうになります。

昔、お釈迦様が争う地に駆け付け、「この川の水と、広い大地どちらが大切ですか」と聞かれました。それに対し、「それは広い大地です」と答えたといわれます。「大地と人の命と、どちらが大切ですか」とお釈迦様は重ねて聞きました。それに対し、「それは人の命です。かけがえのないものですから」

と答えました。「それならば、わずかな水のために、かけがえのない命を殺めるような争いはやめましょう」とお釈迦様は言いました。その後、双方話し合いをして争うのをやめたという話が仏典にあります。

戦争に至る道筋はこの仏典の話と現在の状況は構造的にはあまり変わりません。しかし現在の戦争は中々仏典のようにはいかない。戦争は起きてしまつては容易におさまらない。それはそれぞれの国に強固な大義名分があるからです。

現在の日本には戦争がありません。とてもありがたいことです。しかしその前には日本でも戦争があつて、大勢の若い人たちが亡くなっています。当時の人はどんな気持ちで戦場に向つたのでしょうか。そして終戦になり、亡くなられた人たちの命を無駄にしないために私たちはどうするのか。二度と戦争を起さない努力をしていく、このことが現代を生きる私たちが守るべき誓いであるわけです。こういっ

たことを、戦争を知らない次の世代へと伝えることも大切だと思ひます。

「不思議 不思議」(善を思わず 悪を思わず)

禅の言葉です。「いのち」そのものは善でも悪でもない。(本来の世界、仏の世界に善悪はありません)

ロシア・ウクライナ、それにイスラエル・パレスチナ、どちらが善か、どちらが悪か、議論は百出、際限がありません。尊い命は善悪を超えるものです。

「考えても分からないことをいちいち言つても仕方ない。それよりも今をしっかりと生きなさい」それがお釈迦様の教えです。



お檀家様へのお願い

皆さまいつも長光寺にお参りいただき誠にありがとうございます。皆さま。現在日本全体が不景気の中にございますが、そんな中でも多くの方に支えられて長光寺も今日までやって来ることができました。

しかし近年では寺院経営が年々厳しくなってきました。その原因のひとつとして、少子化により家自体が途絶える家系が多くなってきました。

家系が途絶えることにより、お参りのない墓地が増えております。長光寺では将来を見据えて、かねてより区画整理を進めておりますが、後継者の把握できない墓地も多く、中々難航しております。

現在お参りされている方には、毎年管理料を納めていただいておりますが、突然の世代交代などにより、後継者が有耶無耶になってしまいうケースや、後継者自体がおらずに家が途絶えてしまいうケースなどがあり、管理料が払われないことが多々あります。

長光寺としてもこういったケースが多くなると、寺院の

維持管理が難しくなつて参ります。ご迷惑おかけしますが、皆さまには将来墓地をどなたが管理していくか、ご家族ご親族で相談していただきたいと思います。後継者がいない方につきましては、その旨を長光寺にどうぞご相談ください。お寺側が口を出すことをよく思っていない方もいると存じますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

また、後継者について多く聞かれるのが、結婚して苗字の変わった自分が、お墓に入っていないのでしょうかという質問です。これにつきましてはもちろん問題ございません。苗字が変わっても継続してご先祖さまのご供養を行っていくことが大切だと思います。

時代が変わり、家族の形も変わりつつある世の中ですが、これからも皆さまの心に寄り添ったお寺でありたいと思っております。どうぞこれからも協力をよろしくお願いいたします。



ライン公式アカウント開設

玉寶山長光寺の公式ラインを開設いたしました。LINEやお手紙などは世代の移り変わりもあり、使わない方が多くなってきております。ご法事やお塔婆の申し込み、仏事に関する質問などがございましたら、お気軽にお尋ねください。

※最初の挨拶メッセージは自動配信のため、返信不要です。



施食会のお知らせ

例年通り五月二十三日に開催予定です。

施食会は法事と違い、近隣寺院の方においていただき、大勢の僧侶が読経、法要をする一年に一度の大切な行事です。

その意義は供養されることのない生きものすべての霊である三界の万霊を供養する善根功德によって、先祖や新亡の精霊が滅罪追福されることです。お釈迦さまの時代より伝わっていて、今も全国の寺院で行われております。

又、私たちが生きるために命をいただいている普段は供養されることのない動物や虫、魚、鳥なども慰霊の法要の対象となります。この追善供養の功德がめぐりめぐって新亡や先祖の供養にもなりますので、ご都合をつけて是非ご参加ください。

編集後記

コロナウイルスや戦争、物価高や治安の低下など、今年も忙しい年でした。悲しいニュースで溢れかえっていますが、たまには思わず笑ってしまうようなニュースばかり流れてくる年を経験したいものです。老若男女すべての人が幸せに暮らせることを心より願っております。

〒一六九・〇〇七三

東京都新宿区百人町一の五の二

☎ (〇三) 三二〇九・五三六〇

玉寶山 長光寺

